

研修カリキュラム	学習項目	学習内容の説明
チームビルディング	情報の開示・相手の尊重	■自分自身のことを率直に開示し、相手の個性を尊重する。仕事の成果を出すためのチームづくりとは何か(単なる仲良し集団ではなく)を考える。
トライアル野外活動	事前準備の重要性	■事前準備をしっかりと行う。事前準備が不確かだと、正確な判断ができない。
	基本の大切さ	■基本通りキチンと行うことが重要。作業標準マニュアルに従うことの重要性。
	事実の把握	■仕事をする上で事実を的確に把握する。事実を正確に伝える。
	個人責任と役割分担	■個人の責任とチームの成果。役割を分担し、責任感を持って取り組む。
	仕事のチェック	■簡単な仕事でもチェックは必要。やりっぱなしの仕事は正確性を欠く。
	情報発信と少数意見の尊重	■小さなことでも気づきは発言する。自分の気づきや意見、疑問を発言することがチームへの貢献になる。少数意見を尊重することの必要性。
	仕事の進め方の確認	■新しい仕事に移るときには、仕事としての必要機能を良く吟味する。業務達成の為の必要機能と作業内容を確認してから行動に移る。
	仕事をする上でのコミュニケーションの取り方	■確実にコミュニケーションをとり、いい加減な判断、質の低い妥協をしない。
チャレンジ野外活動	仕事の基本や基準を押さえる	■全てにおいて、基本や基準となることを 正確に押さえる必要性。スタートラインで判断を間違えればその後いくら正確に仕事しても正解にはたどり着かない。
	多様性の理解	■多様な解釈の存在(ダイバーシティ:多様性)。自分と異なる考え方、受け取り方を理解する。何が正しいかだけでなく、どのような考え方があるかを理解する。
	自己主張の重要性	■自己主張の重要性。複数に解釈できる課題に対して、妥協せずにお互いの主張や意見を述べ合う。違う考え方を受け入れるセルフコントロール。
	先入観からの脱却と可能性の追求	■答えは一つという先入観にとらわれない。手段を多数列挙するなど可能性を追求する。
	コンセンサスづくり(責任と判断)	■チームとしての責任と判断。チーム内のコンセンサスづくり。
	柔軟な思考と創意工夫	■柔軟な発想、アイデアを出す。全員で知恵を出し、創意工夫をする。その際、他人任せにせず、どんな意見も否定しない。
	解決の方法は一つではない	■仕事をする上での解決方法は一つではない。他のやり方がないか検討する。
	仕事の効率化	■仕事の目的を明確にし、効率的にする工夫を考える。指示通り実施するのではなく、もっと効率的な方法が無いか考えてから取り組む。
	仕事の全体像の把握(PDCA)	■仕事の目的と全体像を把握し、効率的に行動する。
	情報の共有化	■情報を共有化することで無駄な行動をせず、問題解決が速やかになる。
	個人の責任と組織貢献	■個人の責任。一人ひとりが責任のある仕事をし、組織に貢献する。業務に適合する役割人員配置を適切にできるか。
	粘り強さ(執着心)	■仕事をする上での粘り強さ。諦めずに最後までやり抜く。勇気を持ってあと一步踏みこむ。
	他者へのいたわり・感謝	■メンバー同士のいたわり。他者に対する感謝や労いの気持ちを持つ。
	仕事の優先順位	■仕事の優先順位のつけ方と効率的な仕事の進め方。
情報分析(ターゲット確定)	時間管理と納期意識	■限られた時間(納期)で成果を出す事を意識する。
	役割分担と情報の共有	■仕事をするに際して、チーム内での意識合わせ・役割分担を行う。情報の共有を行いながら仕事をする。
プランニング(目標設定)	チャレンジ意識の醸成	■仕事をする上で、高い目標、チャレンジ意識を持つ。自分で自分の限界を決めない。
	組織理念・方針の理解	■組織理念や方針を理解し、仕事に取り組む。
	コンセンサスづくり	■チームとしてのコンセンサスづくり。自分の意見を主張する。他者の意見を否定しない。目的や目標を共有する。
プレゼンテーション	自身の考えの伝達	■自らの考えや主張を、相手に理解してもらう。(自分たちの考え方、進め方、技術、マーケットなど自分たちのフィロソフィーや各種情報などを公にし、共感を得ながら仕事を進める)
	他者の考えを知る	■お互いに異なった発想法や考え方、進め方を知り、相互刺激により相互啓発をする。
	他者との差別化	■他者(他社)との差別化。他チームと差別化することを考えたか。
ふりかえり	小さな気づきと成長	■どんな小さなことでもおろそかにしないで、感じたこと、気づいたことを反芻し、成長に繋げる。
	チェックの重要性	■仕事(研修プログラム)をやりっ放しにせず、ふりかえることの重要性。